

## 平成26年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	島田和輝
		全体計画						経費区分		-		内線	3646
事務事業名	4300 児童青少年育成センター事業												
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課												
施 策	02010800 児童・青少年健全育成の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費											
	事業	030000 児童青少年育成センター事業											
事業目的						事業概要・効果							
育成委員を中心とする街頭巡視補導活動を通して児童・青少年が非行に走らないよう予防活動に努める。また、環境浄化活動の一環として、有害図書等自動販売機、酒類・たばこの販売方法等有害な環境のチェック活動と商店等へ改善をお願いをする。						街頭巡視補導活動による、子どもたちへ「愛の声かけ」を積極的に行い、登下校時等の子どもたちを見守るとともに、非行の未然防止に努める。 また、児童青少年育成委員会「善行賞」表彰を通じ、地域の子どもたちが取り組んでいる善い行い（活動）に対して大人がしっかりと褒めることで、子どもたちの活動意欲向上につなげる。							

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
育成委員による街頭巡視活動、各種研修会 善行賞の選定及び表彰	育成委員による街頭巡視活動、各種研修会 善行賞の選定及び表彰
平成26年度 予定	平成27年度 予定
育成委員による街頭巡視活動、各種研修会 善行賞の選定及び表彰	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		1,480	2,343
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,480	2,343
人員数(人)	正規職員	0.6	0.5
	嘱託職員	0.7	0.6
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,114.8	3,429.0
	嘱託職員	1,907.5	1,635.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,022.3	5,064.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		7,502.3	7,407.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	981	巡回出動謝礼
11節 需用費	245	消耗品費、会議食糧費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	177	上部組織への負担金及び研修会出席負担金
その他	77	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,327	巡回出動謝礼
11節 需用費	275	消耗品費、会議食糧費
13節 委託費	368	健全育成啓発看板整備委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	212	上部組織への負担金及び研修会出席負担金
その他	161	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	国、県において設置される「青少年対策本部」の市版組織「須坂市児童青少年総合対策本部」の主要事業	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	育成委員の高齢化、社会環境の変化により巡回指導にも限界がある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	現在も、市民のボランティア精神の上に成り立っている事業、効率性を求めるのはナンセンス	

振り返り（決算年度の取組み課題）

育成委員が担う業務は旺盛なボランティア精神と専門性を伴い、他市では長期の経験者が多い。なり手不足や高齢化などの影響でそこまで依頼することは困難である。したがってある程度の活動停滞はやむを得ない感がある。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>市内全域での子どもたちの見守り活動はこの事業において他になく、子どもたちの非行の未然防止の力となっている。</p> <p>また、「善行賞」表彰は、子どもたちの活動が認められることで、更なる意欲向上につながっている。</p>		<p>県内の市町村で組織化している県青少年補導委員会連絡協議会並びにセンター連絡協議会において相互の連絡、協力を図りながら、市内の青少年非行等の早期発見、早期補導に繋がる活動となっている。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	